

令和 年度分 水銀濃度測定結果等調査票

の箇所について、全てご記入ください。

/

枚目

1. 記載担当者

所属・氏名	
電話番号	

2. 事業場情報

届出者(氏名又は名称)	
工場又は事業場の名称	
工場又は事業場の住所	

3. 施設情報

施設の種類	
届出施設名称	
当該年度の年間稼働時間	

4. 水銀濃度測定記録

	1 回目	2 回目	3 回目
測定年月日			
測定事業者・測定者氏名			
測定箇所(試料採取位置)			
乾き排ガス流量(※)	Nm ³ /h	Nm ³ /h	Nm ³ /h
全水銀濃度	μg/Nm ³	μg/Nm ³	μg/Nm ³
ガス状水銀	測定開始時刻	:	:
	測定終了時刻	:	:
	Cs(実測値)	μg/Nm ³	μg/Nm ³
	C(酸素濃度補正值)	μg/Nm ³	μg/Nm ³
	酸素濃度	%	%
	定量下限値(※)	μg/Nm ³	μg/Nm ³
	検出下限値(※)	μg/Nm ³	μg/Nm ³
粒子状水銀	粒子状水銀省略要件を満たしているか		←満たしている場合は ○ を記入
	粒子状水銀の測定を省略しているか		←満たしている場合は ○ を記入
	測定開始時刻	:	:
	測定終了時刻	:	:
	Cs(実測値)	μg/Nm ³	μg/Nm ³
	C(酸素濃度補正值)	μg/Nm ³	μg/Nm ³
	酸素濃度	%	%
	定量下限値(※)	μg/Nm ³	μg/Nm ³
	検出下限値(※)	μg/Nm ³	μg/Nm ³

※ 書ききれない場合は本調査票を複写して記入してください。エクセルでの入力の場合はシートをコピーしてください。

調査票記入例

別紙

令和○年度分 水銀濃度測定結果等

複数枚ある場合、記入をお願いします。

の箇所について、全てご記入ください。

枚目

1. 記載担当者

所属・氏名

電話番号

2. 事業場情報

届出者(氏名又は名称)

工場又は事業場の名称

工場又は事業場の住所

3. 施設情報

施設の種類

届出施設名称

当該年度の年間稼働時間

例) 石炭ボイラー、廃棄物焼却炉 など

例) 第1号焼却炉 など

例) 1日10h、年300日稼働の場合
10×300=3000(h)

2施設以上届出されている場合、1～3の記入は2枚目以降省略可能です。

施設休止中もしくは稼働前の場合、その旨ご記載ください。
またその場合、以降の「水銀濃度測定記録」の記載は不要です。

4. 水銀濃度測定記録

	1回目	2回目
測定年月日		
測定事業者・測定者氏名		
測定箇所(試料採取位置)		
乾き排ガス流量(※)	Nm ³ /h	
全水銀濃度	μg/Nm ³	μg/Nm ³

令和○年4月～令和○年3月に行った水銀測定結果の記載をお願いします。

不明の場合は記載不要です。

全水銀濃度は酸素補正後のガス状水銀濃度と粒子状水銀濃度の合計値を記載してください。

測定記録は、昨年度(RO.4～RO.3)に行った測定の回数分記載をお願いします。

(参考：定期測定の頻度)

- ①排出ガス量4万Nm³/h以上の施設：4か月を超えない作業期間ごとに1回以上
 - ②排出ガス量4万Nm³/h未満の施設：6か月を超えない作業期間ごとに1回以上
- 例) ②の施設で一年を通して稼働していた場合、年2回の測定が必要

ガス状水銀	測定開始時刻	:
	測定終了時刻	:
	Cs(実測値)	μg/Nm ³
	C(酸素濃度補正值)	μg/Nm ³
	酸素濃度	%
	定量下限値(※)	μg/Nm ³
	検出下限値(※)	μg/Nm ³

不明の場合は記載不要です。

粒子状水銀省略要件を満たしているか		←満たしている場合は ○ を記入
粒子状水銀の測定を省略しているか		←満たしている場合は ○ を記入

連続する3年の間において、構造等の変更届出がなく、また継続して定期測定を行い、下記の①から③のいずれかを満たす場合は、粒子状水銀の測定を省略できます。ただし、省略の条件を満たすことが確認できた場合であっても、その時点から3年を超えない期間に1回以上の頻度でガス状水銀及び粒子状水銀の濃度それぞれの測定が必要です。

【粒子状水銀の測定の省略の条件】

- ①粒子状水銀の濃度が、ガス状水銀の試料ガスにおける定量下限未満であること
- ②測定結果の年平均が $50\mu\text{g}/\text{Nm}^3$ 未満である施設のうち、各測定結果において、水銀濃度に対する粒子状水銀の濃度が5%未満であるもの
- ③測定結果の年平均が $50\mu\text{g}/\text{Nm}^3$ 以上である施設のうち、各測定結果において、水銀濃度に対する粒子状水銀の濃度が5%未満であり、かつ、粒子状水銀の濃度が $2.5\mu\text{g}/\text{Nm}^3$ 満であるもの
例) 排出ガス量4万 Nm^3/h 未満の施設で、平成30年度から令和2年度の3年間計6回の測定全て、粒子状水銀濃度がガス状水銀の定量未満であった場合
→条件①に該当するため令和3年度から粒子状水銀の測定省略可（ただし3年を超えない期間に1回は粒子状水銀の測定が必要。）

粒子状水銀	測定開始時刻	:	
	測定終了時刻	:	
	Cs (実測値)		$\mu\text{g}/\text{Nm}^3$
	C (酸素濃度補正值)		$\mu\text{g}/\text{Nm}^3$
	酸素濃度		%
	定量下限値(※)		$\mu\text{g}/\text{Nm}^3$
	検出下限値(※)		$\mu\text{g}/\text{Nm}^3$

粒子状水銀の測定を省略した場合は記載不要です。

＜水銀排出施設が2施設以上ある場合、もしくは1施設につき年4回以上測定を行った場合＞

- ・紙の場合、調査票を複写してご利用ください
- ・エクセルファイルの場合、シートをコピーしてご利用ください

39	検出下限値(※)	$\mu\text{g}/\text{Nm}^3$
40	※ 乾き排ガス流量、定量下限値、検出下限値については、不明の場合は記載不要です。	
41	※ 書ききれない場合は本調査票を複写して記入してください。エクセルでの入力の場合	
42		
43		
44		

シートのコピーの例

調査票 (2) 調査票 (3)

★調査票は石川県HP「水銀排出施設を設置するには」からダウンロードできます。

アドレス : <https://www.pref.ishikawa.lg.jp/kankyo/kankeihourei/taiki/baien/suigin.html>

(もしくは「石川県 水銀」で検索)